令和8年度 安曇野の子どもを語る会 基調提案

「安曇野（ここ）で生きる、安曇野（ここ）から広がる」

～「安心できる居場所」「つながる地域」「挑戦できる未来」を語り合う～



自分らしく根を張り、
世界へ羽ばたく。

北アルプスを望む、豊かな自然と
あたたかな人々に囲まれたこの安曇野。
ここは子どもたちにとっての「原風景」であり、
成長のフィールドです。



Gemini Notebook

急速に変化する、子どもを取り巻く環境。



多様化する放課後



孤立・不登校



部活動の地域移行

Gemini Notebook

過去



現在



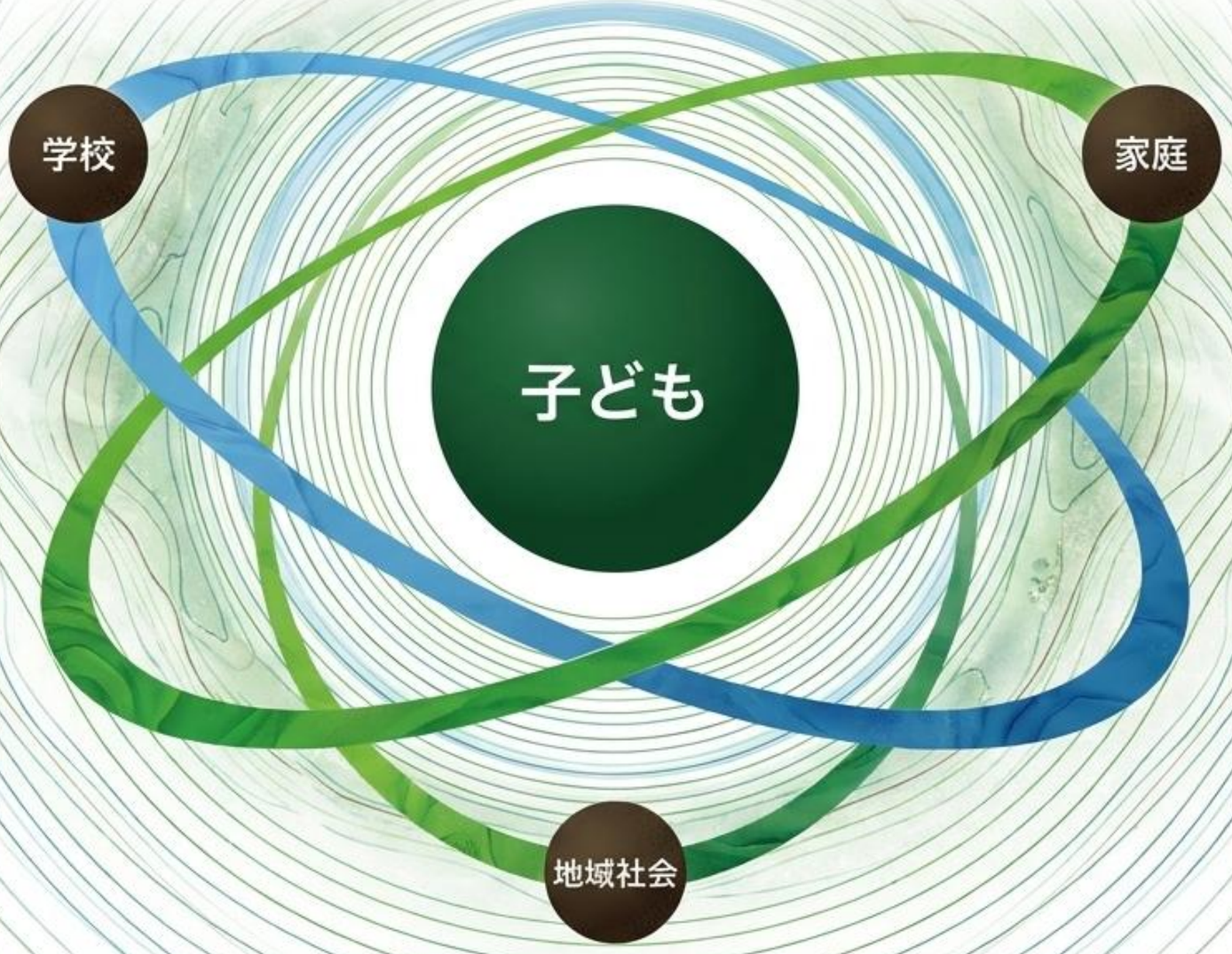
「学校と家庭」だけでは、受け止めきれない声がある。

「学校に行っていれば安心」「家庭に任せておけば大丈夫」という一元的な見方だけでは、子どもたちのSOSを拾いきれない現状があります。

Gemini Notebook

子どもを真ん中に置いた、地域全体での関わりとデザイン。

誰か一人の課題ではなく、ここにいる私たち全員で考え、動かしていくべき課題です。



Gemini Notebook

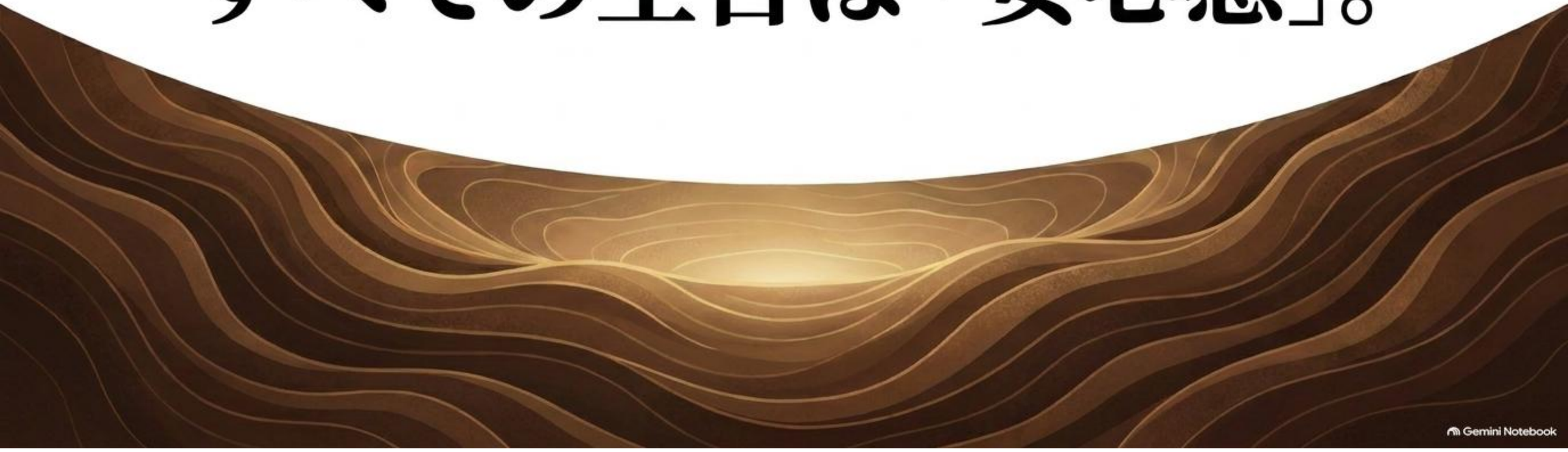
本日の大きな問いを分解する3つの柱。



Gemini Notebook

第１の柱：安心できる居場所

子どもが健やかに育つための、すべての土台は「安心感」。



Gemini Notebook

「自分はここにいていいんだ」と思える場所。

学校でも家庭でもない、ホッとできる「孤立しない街の仕組み」をどう描くか。



Gemini Notebook

第2の柱：つながる地域

「地域で子どもを育てる」という原点へ。

Gemini Notebook

「現代の心地よい距離感」での地域コミュニティをデザインする。

日常の中でのちょっとした大人の関わりや目が、子どもたちの安全を守り、豊かな人間性を育む。



- 通学路の見守り
- 学校ボランティア
- 地域の行事

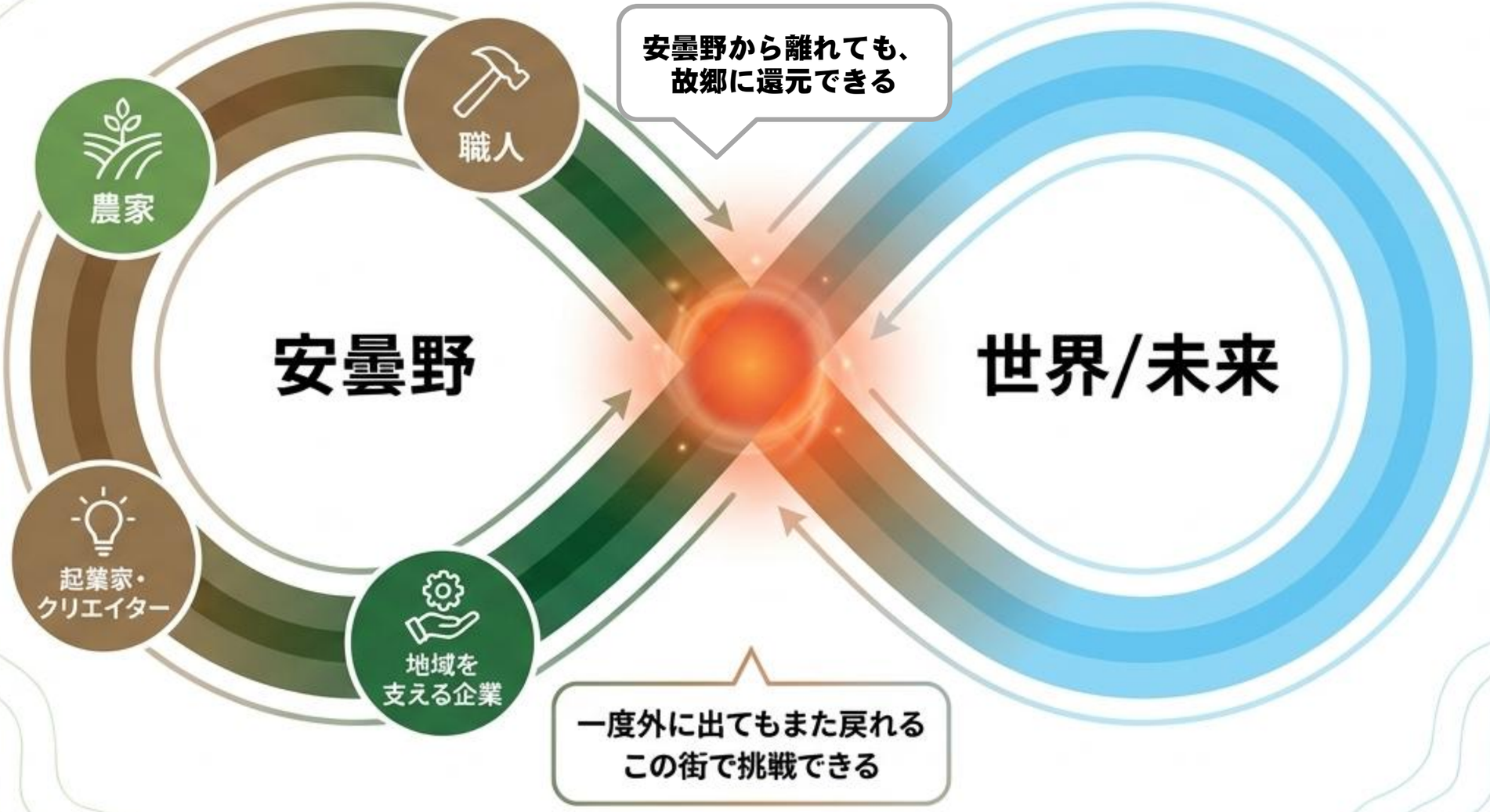
Gemini Notebook

第3の柱：挑戦できる未来

安曇野で育つよさを、子どもたちのキャリアと未来へ還元する。

Gemini Notebook

大人の熱量や選択肢が、子どもたちの「未来のイメージ」になる。



Gemini Notebook

3つのテーマは、
深く連動している。

「安心できる居場所」という土台があるからこそ
外の世界と安全につながり、
多様な人と「つながる」中で
夢に「挑戦」する力が湧いてきます。



Gemini Notebook

「明日から自分にできる一歩は何か」を探る。

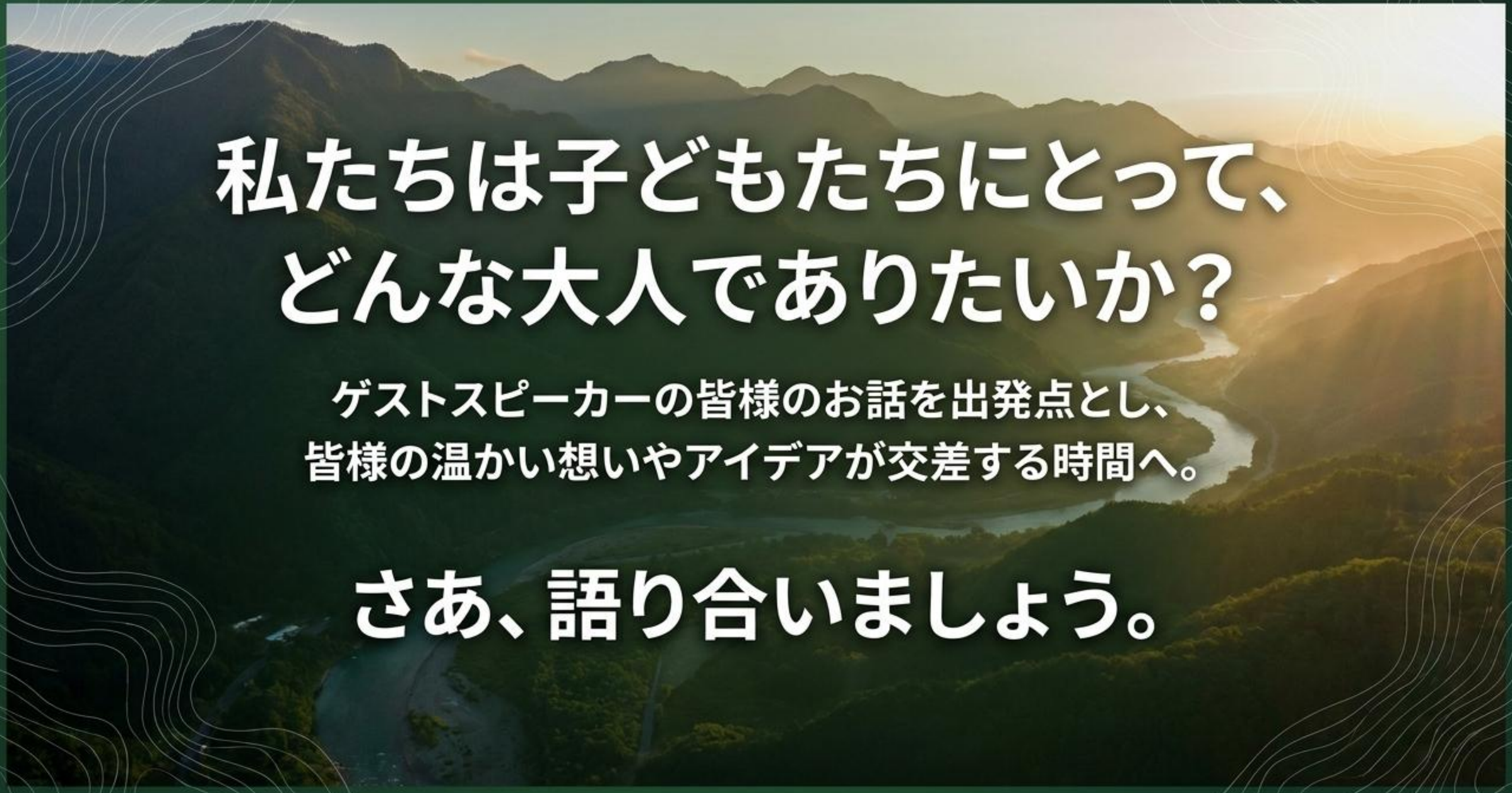


一つの「正解」や「完璧な結論」を
決める場ではない



立場や年齢の違いを超えて、
それぞれの言葉で想いを「共有」し合う場

Gemini Notebook



Gemini Notebook